

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成17年9月

(平成17年8月末調査)

平成17年9月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫  
経営相談室**

電話 0266(23)4567(代)

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率 【7月】	諏訪公共職業安定所管内	1.25 倍	0.05 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.33 倍	0.11 ポイント
手形交換高【8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	15,935 枚	11.9 %
	金 額	19,292 百万円	15.6 %
うち不渡り発生状況	枚 数	2 枚	3 枚
	金 額	700 千円	2,316 千円
車庫証明取扱件数【8月】 (諏訪・岡谷自家用自動車協会管内)		1,119 件	0.1 %
新設住宅着工件数 (17年4月~7月) (諏訪地方事務所管内)		674 件	5.9 %

## 概 況

### 地域の製造業

輸送用機械、産業機械関連企業は総じて引き続き高水準の生産を続けており、携帯電話関連企業の受注は増加した。一方海外生産が増加している情報機器や精密機器の部品加工の下請企業に受注が減少している企業がみられる。

自動車関連下請企業の受注状況は概ね安定しているが、メーカーの夏期休暇から売上が前月を下回った下請企業がみられる。鋼材の値上がりや受注単価引き下げなどの課題を抱えながらも今後も安定した受注が続くとみる企業が多い。

産業機械関連企業の受注は増加、減少区々となっているが総じて受注は増加している。

工作機械は自動車部品やOA機器部品加工および海外向け機械は引き続き順調な生産を続けている。

地域製造業の受注は総じて7月以降増加傾向にあり、鋼材や原油など原材料の値上りからコスト対応に苦慮する企業が多いものの総じて景況は回復傾向となっている。

### 商業

8月前半は猛暑が続いたものの中旬以降曇りの日が多く月間平均気温は平年並みとなった。出足が鈍かった贈答品は8月に入り個人の持ち帰り贈答品が増加し前年並みとなった模様。

衣料品は、浴衣や水着など季節商品は前年を上回る売れ行きをみせ中旬以降婦人服などに幾分動きが出ているが総体では前年並みとなっている。

食料品はお盆の期間は昨年を上回る売上の店舗が多くみられるが月間では前年並みとなっている。また、商品価格が下がっても購入点数は伸びていないとの店舗がみられる。

電気製品は大型薄型TV、パソコンなど順調な売れ行きをみせたものの家庭用エアコンは動きが

鈍く総じては横這い状況が続いている。

ホームセンターは、「防災の日」を前に防災用品などに動きがみられたが総体では幾分低調で前年並の売れ行きとなっている。

## 観光

夏の観光シーズン最盛期を迎え天候にも恵まれそれぞれの観光地や地域の夏祭りは大変な賑わいであった。8月15日の諏訪湖花火大会は県内外から46万人の人が集まり大変な賑わいをみせ、霧ヶ峰、白樺湖、蓼科高原はニッコウキスゲの「当り年」で8月中旬頃までは大変な入り込み客で賑わった。

諏訪の旅館・ホテルの宿泊客は区々となっており花火大会の15日は満館のところが多く、サマーナイトフェスティバルは定着し好評を得ている。宿泊客数は旅館により区々で客室稼働率は高くなったが客数が増えないところもあり総体では幾分減少した模様。

蓼科・白樺湖・車山方面はニッコウキスゲの「当り年」だったこともあり日帰り客の入り込みが多く大変な賑わいをみせたものの、宿泊客は旅館により区々で総じては前年を幾分割り込んだ模様。

下諏訪温泉はシーズンを迎え前月より宿泊客は増加したが前年比では増加、減少区々で総じて前年を割り込んでいる。

諏訪大社の参拝客は 75,772人、前年比では4,034人増加した。

## 建設業

市町村の8月の発注工事は 857百万円で前年同月比 105百万円減少した。地元企業への県発注工事は225百万円で、前年同月比 118百万円減少した。県・市町村合わせた8月の公共工事の地元企業受注額は、1,082百万円で前年同月比 223百万円減少した。民間工事では、7月の新設住宅着工件数は 117戸で前年同月比 75戸減少した。

17年4月～7月の累計着工戸数は 674戸で前年同期の累計着工戸数に比べ 42戸減少している。

建築工事は個人住宅着工件数が幾分減少したが前年を上回る受注残を抱えるところもみられる。一方、土木工事は減少したままで建設業は依然厳しい状況となっている。

## 雇用面

7月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所 1.25倍、岡谷公共職業安定所 1.33倍で諏訪地域の有効求人倍率は 1.28倍と長野県の 0.96倍を上回っている。諏訪職安、岡谷職安合わせた7月の新規求人(全数)は 1,511人で前月より 140人減少した。製造業からの新規求人は前年同月比では昨年秋以降減少傾向を示しており、人材派遣を含むサービス業や医療・福祉関係からの求人が増えている。製造業からの求人は専門技術者など即戦力を求めている。

諏訪地域の有効求人倍率は平成15年10月以降連続して1倍を上回っている。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

## 業種別動向

### 1. 電気機器

プリント基板	携帯電話、パソコン向けなどの受注増加から高水準の生産を続けている企業がみられる一方で横這い状況の企業もみられるなど区々となっているが、総じて受注は増加している。
コンデンサー	フィルムコンデンサーの受注は横這い状況がつづいている。
プリンター	下請け企業の受注状況は区々となっているが総じては増加している。インクカートリッジは堅調に推移している。
コンダクター・リレー	安定した生産状況が続いている。

### 2. 輸送用機械

自動車	自動車部品は材料費の値上がりから収益性は厳しいものの受注は安定している。生産状況は総じて高水準のまま横這いとなっているが一部にコスト競争から受注が減少している企業もみられる。 二輪車部品は堅調な動きとなっている。
ピストリング・シリンダー ライター	メーカーは順調な生産を続けており下請企業の受注は幾分増加している。
船外機	外注企業は高水準のまま横這い状況の受注となっている。

### 3. 一般機械

工作機械	自動車関連企業やOA機器などの部品加工企業および海外出荷の工作機械は堅調な生産を続けている。
専用機・省力機器	専用機械、省力化機械など産業機械は高水準の生産を続けているところが多くみられる。
搬送用機械	生産は横這い状況が続いているがデジタル家電などの新規受注は幾分減少している。
金型	情報機器や音響機器の金型受注は一部企業に高水準のまま横這い状況のところもみられるが減少したところもあり区々となっている。
アルミダイキャスト	自動車部品や電源機器部品に高水準の生産を続けているところがみられ、一時の勢いからは幾分弱まったところもみられるが新規受注引き合いもみられる。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	デジタルカメラの7月の生産台数は433万台で、前月比12.6%、前年同月比4.3%の減となっている。(カメラ映像機器工業会) カメラ映像機器工業会は8月9日平成17年の出荷見通しを1月公表の7,220万台から6,480万台に改定したが要因として「急激な普及の進展」をあげておりメーカーの開発・販売競争は一段と激しさを増しており地域の下請企業の受注状況は親企業により増加減少区々となっている。
---------	--

プロジェクター      メーカー各社の海外生産比率は高まり下請企業の受注は減少している。  
デジタルミニラボ      機種変更はみられるが引き続き順調な生産状況となっている。  
レンズ      レンズの生産は海外が主体となっており、国内のガラスレンズの生産量は減少している。地域のレンズ加工はライフルスコープのレンズを含め総じて減少傾向が続いている。

5. 織 維  
ニ ッ ト

冬物ニットの本格生産時期を迎えているが夏の衣料品の売れ行きが幾分低調だったことから専門店からの発注が遅れ気味となっている。  
ヤングミセス向けニットの受注を受け多忙のところもみられる。

6. 食 品  
寒 天

健康食品としてTV番組での紹介以降、個人消費が急増し商社、問屋からの注文が増加しているが数量が限定されており品薄のため注文に応じられないところもみられる。

味 噌

時期的に需要がやや減少しており出荷は前年並となっている。

7. 製 材

諏訪地域の7月の木造住宅着工件数は93戸で前月比 3戸減少した。

地域の木材需要は幾分増加しており価格は幾分強含みとなっている。

8. 建 設  
公 共 工 事

8月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所6件、林道治山工事関係1件、土地改良工事1件など合わせて10件、契約金額225百万円となっている。17.1月～17.8月の累計契約額は、859百万円で前年8月累計比 983百万円の減少。市町村発注工事は、建築工事3件4百万円、土木工事・下水道工事など87件634百万円、その他工事14件170百万円で合計104件857百万円で前年8月に比べ105百万円減少した。

民 間 工 事

7月の新設住宅着工件数は117戸で前年7月比 75戸減少した。  
建築工事に動きが見られるが土木工事は低調に推移している。

## 9. 商業

諏訪地方の8月の天候は、降雨量は例年より少なかったものの中旬以降曇りの日が多く月間平均気温は平年並みとなっている。出足が鈍かった贈答品は8月に入り個人の持ち帰り贈答品など売れ行きが戻り前年並となった模様。衣料品は浴衣や水着など例年を上回る売れ行きをみせ食料品はお盆の期間は昨年を上回る売れ行きをみせたが、小売業全体としては横這い状況となっている。

衣 料	「クールビズ」商品に加え浴衣や水着など売上を伸ばした商品がみられ中旬以降婦人服など動きが出始めたが衣料品全体では前年並となっている。
食 料 品	生鮮三品では食肉の売れ行きが回復し果物や惣菜も順調に売れている。食品全体ではお盆期間は昨年を上回る売れ行きであったが商品価格が下っても購入点数が伸びず総じては横這い状況となっている。
電 気 機 器	薄型大型TV、パソコンは前月に続き堅調な売れ行きをみせており、デジタル携帯音楽プレーヤーは若者中心に人気を高めている。家庭用エアコンは幾分低調で全体としては前年並みとなっている。
自 動 車	諏訪・岡谷を合わせた8月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,119台で、前月比 163台減少し前年同月比では 0.1%の減少となった。軽自動車は引き続き売上を伸ばしており、普通乗用車は中古車に動きがみられたが全体としては横這いとなっている。
ホームセンター	「防災の日」を前に防災用品やカンパンなど非常時食品などが売れ筋商品であったが総体では幾分低調な動きとなっている。
デパート	「クールビズ」関連商品や婦人衣料品、食料品など売上を伸ばした。贈答品は、企業関係は幾分減少したが個人向けが伸び全体では前年を上回った模様。入店客は個人や親子、夫婦連れなど全体として伸びている。

## 10. 観光

夏の観光シーズン最盛期を迎え天候にも恵まれ地域の観光地や夏祭りは大変な賑わいをみせた。15日の諏訪湖花火大会は県内外から46万人の人が集まり大変な盛り上がりを見せ霧ヶ峰、白樺湖、蓼科高原はニッコウキスゲの「当り年」で日帰り客の入り込みが多く大変賑わった。宿泊客は施設により区々で総じては昨年を割り込んでおり愛知万博の影響を受けている。

上諏訪温泉	8月15日は満館のところが多くサマーフェスティバルも好評で定着してきた。旅館・ホテルにより宿泊客は増加減少区々となっている。部屋稼働率が高くなったところも見られるが全体では宿泊客は昨年を幾分割り込んだ模様。
蓼科・白樺湖・車山	日帰り客の入り込みが多く大変な賑わいをみせたが宿泊客は施設により区々となっており総じては前年を下回っている。リフトなど観光施設は入り込み客が多く賑わいをみせたものの昨年並みとなった模様。
下諏訪温泉	シーズンを迎え宿泊客は増加したところが多くなっているが総体では昨年を割り込んだ模様。
諏訪大社	上社・下社の参拝客数は75,772人で前月より4,034人増加した。

## 16年工業統計速報からみた諏訪地方工業の推移（4人以上の事業所）

16年12月31日現在で行われた工業統計の速報が発表されました。

（16年は速報値のため確定値と異なる場合があります）

平成16年の工業統計では、諏訪地方の製造品出荷額等は8,204億44百万円で前年比16.2%増加しており、増加率は長野県の6.1%を大幅に上回っております。

原材料費は4,626億78百万円で前年比23.0%の伸びとなっており長野県の伸び率7.7%を大きく上回っております。

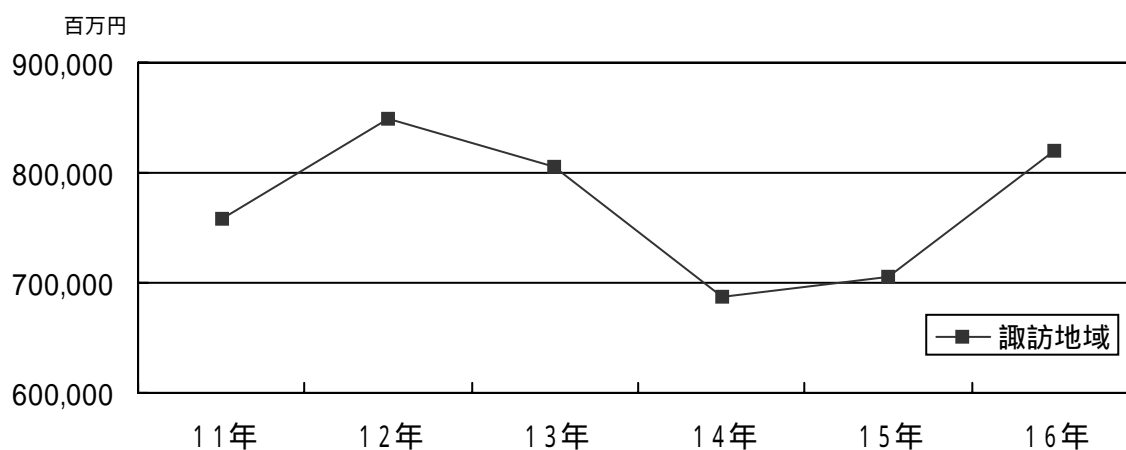
（諏訪地方の原材料費は製造品出荷額等の56.4%を占めている。）

事業所数は1,054事業所で前年比84事業所7.4%減。5年前の平成11年比では280事業所、21.0%減となっており長野県とほぼ同様な傾向となっております。

従業員数前年比0.1%増加したものの5年前比13.3%で長野県とほぼ同様の傾向となっております。

### 諏訪地域製造品出荷額等の推移

製造品出荷額等							(百万円)
	11年	12年	13年	14年	15年	16年	
長野県全体	6,480,310	7,016,823	6,517,286	5,331,857	5,683,312	6,030,732	
諏訪地域	757,443	849,902	804,759	686,364	705,889	820,444	



平成14年後半からデジタル家電（薄型TV、デジタルカメラ、DVDレコーダーなど）、携帯電話など新製品が次々に開発され、国内および海外の市場が拡大を続けております。16年夏頃をピークにIT製品に生産調整がみられたが17年春頃を底に生産活動は再び回復してきております。

## 最近の長野県経済の動向

(2005年9月7日)日本銀行松本支店

2005年6、7月の主要経済統計および企業ヒアリングを中心に取りまとめ。

長野県経済は、足踏み状態から脱し切れていないが、全体として回復に向けた動きを続けている。

足許の最終需要の動向をみると、**設備投資**は、製造業を中心に増加を続けているほか、**住宅投資**は、貸家の増加を主因に前年を上回った。また、**個人消費**は、食料品、耐久消費財を中心に、総じてみれば底堅く推移している。一方、**輸出**は、弱含んでおり、**公共投資**は、市町村発注分が減少したことから、前年を下回った。

以上のような最終需要の下で、生産は、需要好調な自動車・産業機械向けの生産は水準を引き上げたほか、IT関連財の生産は、在庫調整が進捗している中で、持ち直しの動きがみられる。こうした中、雇用面をみると、転職機会の拡大を眺めて求職者が増加する中で、有効求人倍率は横這いで推移している。一方、所得面は、所定内給与が底堅く推移するなど、全体としては持ち直し傾向にある。

## 個別業界の動向

(生産)

**半導体関連**では、半導体素子の生産は、国内外の自動車向けやデジタル家電向けを中心に持ち直して高水準の生産となったほか、シリコンウエハーの生産も緩やかに回復している。一方、リードフレームの生産は低調に推移している。

**電子部品**では、デジタル家電向けの在庫調整が進捗している中で、コンデンサの生産は幾分持ち直している。この間、抵抗器の生産は、北米向けの自動車部品の伸び悩みから、また、モーターの生産も、海外メーカーとの価格競争や海外への生産移管の影響により、低調に推移している。

**情報機器**では、プリンターは、フォト機能を充実させた製品の販売好調を背景に、堅調な生産を続けている。また、県内生産分のパソコン(ノートブック型)は、横這い圏内での推移となっている。一方、デジタルカメラは、販売の伸び悩みを受けて、生産は低調に推移している。

**自動車部品**は、新型車投入効果がみられる国内向けとともに、海外向けも堅調なことから、高水準の生産を続けている。

**工作機械**は、国内外の自動車メーカーや海外の情報関連機器メーカー向けを中心に、生産は増加基調を維持している。

**味噌**の出荷は総じて横這いで推移している。

(個人消費)

**県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高**(当店調べ<店舗調整前>)をみると、夏物衣料や身回品の売上が、前年の猛暑効果の反動や週末の降雨の影響を受けて減少したことから、全体では僅かながら前年を下回ったが、食料品の販売は引き続き底堅く推移している。

**家電販売**は、前年の猛暑効果の反動により、エアコンや季節商品の販売が前年を下回ったものの、デジタル家電や白物家電が好調を維持していることから、全体では堅調な販売が続いている。

**自動車販売**をみると、新型車投入効果がみられる小型車、軽四輪を中心に前年を上回った。

(建設)

県内建設関連企業における**民間工事新規受注額**は、一般企業の小型設備案件に加え、マンションや高齢者福祉施設建設の案件がみられたことから、引き続き高水準となった。

**公共工事請負額**は、市町村発注分が減少したことから、前年を下回った。

**住宅着工戸数**は、貸家の増加を主因に、前年を上回った。